

地域医療支援病院業務報告書

令和 7 年 9 月 16 日

(申請者)
横浜市長 山中 竹春 殿

申請者 住 所 横浜市中区本町2丁目22番地 京阪
横浜ビル4階

氏 名 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
理事長 阿南 英明

〔 法人の場合は、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名 〕
電 話 045-651-1229

標記の件について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町2丁目22番地 京阪横浜ビル4階
氏 名	地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 理事長 阿南 英明

(注)開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 病院名

フリガナ	カナガワケンリツコドモイリョウセンター
病院名	神奈川県立こども医療センター

3 所在地

〒 232-88555 横浜市 南区六ッ川2-138-4 電話： (045)711-2351

4 病床数(使用許可病床数)

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
40床	0床	0床	0床	390床	430床

5 施設の構造設備

施設名	施設概要
集中治療室	<p>病床数 <u>PICU10</u> 床 (主な設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血液ガス分析装置 1台 ・電動ベッド(スケール付) 9台(うち1台は故障中) ・除細動器 1台 ・セントラルモニターシステム 1台 ・ベッドサイドモニター 10台 ・人工腎臓装置 2台 ・経皮酸素モニター 2台 ・製氷機 1台 ・ACT測定器 1台 ・ネブライザー 8台 ・ドップラー 1台 ・ペースメーカー(体外式) 3台 ・無影灯 1台 ・アイノフロー 4台 ・N2装置 1台 ・心電図 1台 ・アニメック 2台 ・オープンクベース 1台 ・新生児・小児用低体温療法装置 2台 ・メディサーム 1台 ・ブランケットロール 2台 ・搬送用ストレッチャー 1台 ・搬送用モニター 1台 ・FFP解凍器 1台 ・低速シェーカー 4台 ・冷蔵庫(血液血漿用1台、医薬品用1台、ミルク用1台) 3台 ・冷凍庫(輸血用、アイスノン用) 2台 ・救急カート 1台 ・包帯交換車 1台 ・温乳器 1台
生化学・血液検査室	<p>(主な設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床化学自動分析装置 3台 ・酵素免疫測定装置 1台 ・多項目自動血球分析装置 1台 ・血液凝固分析装置 1台 ・免疫比濁分析装置 1台 ・赤血球沈降速度測定器 1台 ・アンモニア測定装置 1台 ・骨髓検査データ解析装置 1台 ・冷凍冷蔵庫 3台 ・冷蔵庫 1台 ・冷凍庫 4台 ・超低温冷凍庫 3台 ・保冷室 1台 ・冷却遠心器 5台 ・遠心器 3台 ・安全キャビネット 1台

施設名	施設概要
細菌検査室	<p>(主な設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・微生物分類同定分析装置 1台 ・インキュベーター 6台 ・バイオハザード対策用キャビネット 2台 ・全自動微生物分類同定感受性検査装置 1台 ・血液培養自動分析装置 1台 ・冷凍冷蔵庫 2台 ・冷蔵庫 1台 ・遠心器 2台 ・顕微鏡 1台 ・小型高圧蒸気滅菌器 1台 ・パスボックス 1台
病理検査室	<p>(主な設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顕微鏡 3台 ・実体顕微鏡 2台 ・蛍光顕微鏡 1台 ・ディスカッション顕微鏡 2台 ・透過型電子顕微鏡 1台 ・パラフィン伸展機 3台 ・クリオスタット 1台 ・マイクローム 3台 ・密閉式自動固定包埋装置 1台 ・パラフィン包埋ブロック作成装置 1台 ・プッシュプル型廃液槽付流し台 1台 ・プッシュプル型撮影台ブース 1台 ・プル型ストッカー 1台 ・自動染色装置 2台 ・UV撮影装置 1台 ・パラフィン溶融機 1台 ・冷凍冷蔵庫 2台 ・冷蔵庫 1台 ・冷凍庫 3台 ・超低温冷凍庫 1台 ・上皿電子天秤 2台 ・卓上遠心器 5台 ・pHメーター 1台 ・マグネチックスターラー 2台 ・組織固定振とう器 1台 ・恒温槽 2台 ・ミニゲル電気泳動装置 1台 ・サーマルサイクラー 3台 ・ヒートブロック 2台 ・ホットプレート 1台 ・光触媒環境浄化装置 3台 ・プッシュプル型換気装置 1台 ・マイクロウェーブ迅速試料処理装置 1台

施設名	施設概要
病理解剖室	(主な設備) ・解剖台 2台 ・遺体冷蔵庫 1台 ・ストレッチャー 1台 ・器具保管庫 1台 ・冷凍冷蔵庫 1台 ・体重計 1台 ・上皿電子天秤 3台 ・超低温冷凍庫 1台 ・ホワイトボード 1台 ・臓器撮影装置 2台
研究室	(主な設備) 臨床研究室 ・事務機 7台 ・プリンター 3台 ・ホワイトボード 1台 ・電子レンジ 1台 ・本棚 4台 ・空気清浄機 1台 ・科研関連蔵書 20冊 解析機器 ・サーマルサイクラー 8台 ・リアルタイムPCR装置 2台 ・質量分析装置 2台 ・クリーンベンチ 2台 ・安全キャビネ 1台 ・超低温フリーザー 5台 ・バイオアナライザー 1台 ・卓上型次世代シーケンサー 1台 ・マイクロアレイ解析装置 1台 ・デジタルPCR装置 1台
講義室	収容定員 <u>100</u> 人 室 数 <u>1</u> 室
図書室	室 数 <u>1</u> 室 蔵 書 数 <u>34,300</u> 冊程度 雑 誌 <u>1,060</u> 誌
救急用又は患者搬送用自動車	保有台数 <u>1</u> 台 (内訳: 救急車1台) (主な設備) 生体情報モニター、自動除細動器、電気吸引器、マイクロブレンダー、酸素流量計
医薬品情報管理室	【専用室の場合】 床面積 <u>45.9</u> m ² 【共用室の場合】 _____ 室と共有

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率80%を上回っている	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を超えること	
	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率が50%を超え、かつ、逆紹介率が70%を超えること	
紹介率 ※患者数は延べ人数	①／②－(③＋④＋⑤)	100.1%
	①紹介患者数	8,489人
	②初診患者数	9,055人
	③地域公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	254人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	319人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	0人
逆紹介率 ※患者数は延べ人数	⑦／②－(③＋④＋⑤)	90.0%
	⑦逆紹介患者数	7,635人

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急関患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	121人	歯科医師	3人	看護師	76人
薬剤師	20人	臨床検査技師	27人	臨床工学技士	8人
診療放射線技師	16人	保健師	3人	看護補助者	28人

(注)非常勤医師等、常勤換算で記載すること。

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	HCU1床
専用病床	PICU1床

(注)一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用 の可否
救急外来	266.5㎡	(主な設備) ・無影灯 1台 ・カウンターショック 1台 ・超音波診断装置 1台 ・救急医療カート 1台 ・人工呼吸器 1台 ・ベッドサイドモニター 3台	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

手術室	464.8m ²	(主な設備)	
		中央手術室7室 ・手術用生体情報管理システム 1台 ・人工心肺装置 2台 ・手術台(アンギオ用1台含む) 8台 ・麻酔器 7台 ・麻酔器システム(ガスモニター) 7式 ・中央監視装置 1式 ・無影灯(大) 2台 ・無影灯(小) 2台 ・LED無影灯 12台 ・血液ガス分析装置 1台 ・患者監視装置 4台 ・バイポーラ電気メス 10台 ・ハーモニック 1台 ・超音波メスミソニックキューサー 2台 ・ターニケット 2台 ・ウォッシュャーステリライザー 3台 ・顕微鏡(移動式) 4台 ・ストルツプレミア(白内障硝子体吸引装置) 1台 ・超音波診断装置 2台 ・内視鏡ユニット 3台 ・腹腔鏡ユニット 2式 ・気管支鏡ユニット 1式 ・気管支ファイバーセット 1式 ・エックス線イメージ装置 1台 ・ポータブルエックス線装置 1台 ・除細動器 2台 ・高低温体温調整装置(メディサーム) 4台 ・自己血回収装置(エレクター) 1台 ・サージアトーム 1台 ・パワープロ 2台 ・マイダスレックスハイスピードドリル 2台 ・誘発電位検査装置 3台 ・内視鏡洗浄消毒装置 1台 ・輸血冷凍冷蔵庫 2台 ・滅菌手洗いシステム 2式 ・高圧蒸気滅菌器 3台 ・エチレンオキシドガス滅菌器 1台 ・プラズマ滅菌器 1台 ・除細動装置 2台 循環器手術室2室 ・手術台(シネアンギオ透視台含む) 2台 ・シネアンギオ装置 1式 ・無影灯 5台 ・麻酔器 2台 ・サージアトーム 1台 ・滅菌手洗いシステム 1式 ・除細動装置 2台 ・高低温体温調整装置(メディサーム) 1台 ・電気メス 1台	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

集中治療室	392.0㎡	(主な設備) PICU10床 ・ICU生体情報管理システム 1台 ・血液ガス分析装置 1台 ・電動ベッド(スケール付) 9台(うち1台は故障中) ・セントラルモニターシステム 1台 ・ベッドサイドモニター 10台 ・人工腎臓装置 2台 ・経皮酸素モニター 2台 ・製氷機 1台 ・除細動器 1台 ・ACT測定器 1台 ・ネブライザー 8台 ・ポータブル吸引機 1台 ・ドップラー 1台 ・ペースメーカー(体外式) 3台 ・無影灯 1台 ・アイノフロー 4台 ・心電計 1台 ・アメニック 2台 ・メディサーム 2台 ・ブランケットロール 1台 ・搬送用モニター 2台 ・輸血加湿装置 3台 ・血液振盪器 4台 ・冷蔵庫 3台 (血液血漿用、医薬品用、ミルク用各1台) ・救急カート 1台 ・包帯交換車 1台	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
輸血・緊急検査室	125.6㎡	(主な設備) ・全自動輸血検査装置 1台 ・チューブシーラー 1台 ・自動血球洗浄遠心器 2台 ・血小板振盪器 5台 ・BTD×2システム 1台 ・遠心器 8台 ・恒温槽 6台 ・浸とう恒温槽 1台 ・保冷库 5台 ・超低温フリーザー 2台 ・冷凍庫 2台 ・無菌接合装置 1台 ・血液凝固分析装置 1台 ・臨床化学自動分析装置 1台 ・多項目自動血球分析装置 1台 ・血液ガス分析装置 2台 ・アンモニア測定装置 1台 ・薬用保冷库(保冷库+フリーザ) 1台 ・全自動遺伝子解析装置 2台 ・クリーンブース 1台	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>

放射線検査室	1,752.6m ²	(主な設備)	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>	
		・コンピューター断層(CT)撮影装置		1台
		・磁気共鳴断層(MRI)撮影装置		2台
		・エックス線撮影装置		3台
		・移動型エックス線撮影装置 (H1、一般病棟、NICU、手術室、ICU、救急外来)		6台
		・エックス線テレビ装置		2台
		・エックス線規格装置		1台
		・エックス線全顎撮影装置		1台
		・エックス線血管撮影装置(心臓用)		1台
		・エックス線血管撮影装置 (頭部、腹部、一般併用)		1台
		・移動型外科用透視撮影装置		1台
		・核医学検査装置(SPECT-CT)		1台
		・放射線治療装置		1台
		・放射線治療計画装置		1台
		・位置決め用コンピューター断層(CT) 撮影装置		1台
		・超音波診断装置		1台
		・エックス線骨密度測定装置		1台

4 備考

神奈川県周産期救急システム基幹病院として患者の受入れ体制確保

NICU 27床

MFIUC 6床

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。すでに、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択し記入すること】

(1)救急患者数

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	661人
	(258人)
上記以外の救急患者の数	3,590人
	(414人)
合計	4,251人
	(672人)

※括弧内は、初診救急患者数

(2)救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送者数割合

A：救急用又は患者輸送用自動車により搬送した救急患者の数	
B：救急医療圏(2次医療圏)人口 [※]	3,771,005人
C： $A/B \times 1,000 > 2$	

※2024年4月1日時点の人口

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ数	0施設
そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	0施設
医療機器共同利用件数	0件
共同利用病床数	0床
共同利用に係る病床の病床利用率	0%

2 共同利用の施設・設備等

医療機器							
コンピューター断層撮影装置(CT)	<input checked="" type="checkbox"/>	磁気共鳴コンピューター断層撮影装置(MRI)	<input checked="" type="checkbox"/>				
陽電子診断装置(PET-CT)	<input type="checkbox"/>	直接撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
核医学診断装置(RI)	<input type="checkbox"/>	乳房撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>				
診療用高エネルギー放射線発生装置	<input checked="" type="checkbox"/>	骨密度測定装置	<input type="checkbox"/>				
ホルター心電図装置	<input type="checkbox"/>	消化管内視鏡検査装置	<input type="checkbox"/>				
頸動脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	心臓超音波装置	<input type="checkbox"/>				
下肢静脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	その他()	<input type="checkbox"/>				
手術室	<input checked="" type="checkbox"/>	病床	<input type="checkbox"/>	図書室	<input checked="" type="checkbox"/>	会議室・講義堂	<input type="checkbox"/>

(注)当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器機又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものも明記すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規定の有無

有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
---------------------------------------	----------------------------

(注)共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

地域医療支援病院開設者との経営上の関係	有	0施設
	無	965施設

(注)当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

(注)承認要件－開設者と直接関係のない医療機関が現に共同利用を行っている全医療機関の5割以上であること。

(注)登録医療機関の名簿を添付してください。

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修内容(研修会等名称、研修内容、開催日、参加医療機関数)

別紙参照(2024年度地域の医療従事者に対する研修実績)

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	40回
(2) (1)の研修参加者数	2,557人

(注1) 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注2) (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(2) 研修委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂	142.00㎡	(主な設備) 机(3人がけ)36台、椅子100脚、スクリーン、 ホワイトボード、演台(マイク付)、プロジェクター、 ビデオ、パーテーション、マイク設備(アンプ、 スピーカー)、シャーカステン
会議室	108.00㎡	(主な設備) 机(3人がけ)32台、椅子74脚、スクリーン、 ビデオ2台、プロジェクター1台、マイク設備
会議室	70.00㎡	(主な設備) 机(3人がけ)11台、椅子35脚、ホワイトボード、 スクリーン、シャーカステン
画像カンファレンス室	66.00㎡	(主な設備) 机(3人がけ)6台、椅子25脚、黒板(ホワイトボ ード)、プロジェクター、ビデオ3台、スクリーン、 シャーカステン、PC8台、プリンター
カンファレンス室	54.00㎡	(主な設備) 机(3人がけ)8台、椅子40脚、ホワイトボード、 テレビ、ビデオ、スクリーン、PC2台、マイク設備

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者(役職名)		副院長
管理担当者(役職名)		医事課長
保管場所		
診療に関する諸記録 (病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約)		○病院日誌 総務課 ○各科診療日誌 外来 ○その他諸記録 ・入院中の患者 病棟 ・外来の患者 医事課 ・退院した患者等 病歴管理室
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室
	救急医療の提供実績	医事課長
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績	地域医療連携室
	閲覧実績	地域医療連携室
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績数を明らかにする帳簿	医事課

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者(役職名)	副院長		
閲覧担当者(役職名)	医事課長		
閲覧の求めに応じる場所	総務課、医事課		
前年度の総閲覧件数			0件
閲覧者別	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0件
		歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

委員会の開催の実績

委員会の回数	2回
委員会における議論の概要	
<p>地域医療支援事業運営委員会 第1回 2024年11月</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今年度構成員を減らした理由について ○当院が取り組んでいる地域への広報活動について ○地域医療支援事業運営委員会の在り方について <p>地域医療支援事業運営委員会 第2回 2025年2月</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前回の運営委員会で外部委員の方々からいただいた、ご意見・ご要望に対する回答 ○次年度の開催回数・形式について 	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 <input checked="" type="checkbox"/> 患者サポート室 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/>
	「その他」記入欄 病棟・外来など
主として患者相談を行った者(対応者) (複数回答可)	医療福祉相談室、母子保健推進室(保健師、非常勤看護師、非常勤OT、非常勤ST、非常勤保健師、SW常勤、契約、非常勤)
患者相談件数	16,218件

患者相談の概要

地域連携・家族支援局(患者家族支援部・地域保健推進部)では患者や家族が安心かつ安全に社会生活が続けられるよう、次のような医療的、社会的及び精神的支援を行っている。

- 相談・支援により患者やその家族の不安の軽減
- 在宅療養を継続するための関係機関との連携
- 在宅医療、在宅支援の推進

受診相談	235件	病気の理解に関する援助	1,722件
他機関からの患者問合わせ	2件	問題整理・課題明確化援助	1,849件
医療制度	175件	傾聴・心理的支持援助	914件
医療費問合わせ	42件	家族関係・家庭生活に関する調整援助	1,826件
福祉サービス	100件	グリーフケア・ターミナルケア	47件
療育サービス	53件	対経済、生活支援サービスの制度紹介援助	593件
リラの家	24件	関係機関の紹介援助(医療機関、施設、訪看、通訳)	3,026件
訪問看護ステーション	18件	就園、就学、復学援助	618件
医療機関	49件	当院利用、受診、受養援助	2,572件
レスパイト・医療評価入院	33件	苦情、その他	37件
在宅ケア	68件		
患者会・家族会・ピアサポート	10件		
保育・教育・育児	43件		
通訳	1,911件		
宿泊	1件		
兄弟の相談	12件		
家族の相談	4件		
その他	234件		
小計①	3,014件	小計②	13,204
	合計①+②		16,218件

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
評価を行った機関名、評価を受けた時期	日本医療機能評価機構 受講日:2025年2月		

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
情報発信の方法、内容等の概要	地域医療連携室だより年3回発行 ・2024年6月発行(第54号) 副院長兼看護局長就任のご挨拶 他 ・2024年11月発行(第55号) こども医療センターの医療安全の取り組み 他 ・2025年2月発行(第56号) 薬剤科の今後の業務展開 他		

3 退院調整部門

退院調整部門の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
退院調整部門の概要	・集中治療、専門医療を必要とした退院困難要因を有する患者について、退院に向けた意思決定を支援し、在宅医療を継続するための調整を行う ・退院困難ケースを早期に把握し、院内外と協議しながら退院支援、調整を行う		

4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定		有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>
策定した地域連携クリティカルパスの種類、内容			
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組			

共同利用の手続等について

1 登録医の一般的留意事項

登録医は、次に掲げる事項を遵守するものとする。

- (1) 登録医は、患者に必要な投薬、検査、処置等の診療行為の指示を直接行うことはできず、担当医を介して行うものとする。
- (2) 患者（家族）への説明は、担当医と協議して行うものとする。
- (3) 登録医が来院するときは、担当医に連絡するものとする。
- (4) 登録医は、地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立こども医療センター（以下、センターという）の慣行、取決め等に従うものとする。

2 外来・入院診療及び手術への参加手続等

- (1) 登録医は、センターにおいて外来・入院診療及び手術に参加する場合は、様式第1号の共同診療・手術参加申し込み書を提出しセンターの承認を得るものとする。
- (2) センター総長は、申し込みのあった共同診療・手術参加を承認したときは、様式第2号の参加承認証を交付する。
- (3) 共同利用の可否は、運営規程第11条第3項の地域医療連携室の責任者が決定する。
- (4) 登録医は、前条で定める事項を遵守するほか次の条件のもとで共同診療及び手術へ参加することができる。
 - ア 登録医がセンターで共同診療及び手術に参加することについて患者（家族）が同意していること。
 - イ 担当医は、センターの医師であること。
 - ウ 登録医は、患者の病状に応じてセンターに来院し、患者の状態を把握すること。ただし、手術への参加はこの限りでないこと。
 - エ 登録医の診療時間は、原則として休日と土曜日を除く午前9時から午後5時までとすること。ただし、手術への参加は手術の時間内とすること。
 - オ 登録医は常にセンターからの連絡が受けられる手段を確保するものとする。

3 診断機器の利用手続等

- (1) 登録医は、センターにおいて診断機器の利用を行いたい場合は、様式第3号の機器利用申し込み書を提出しセンターの承認を得るものとする。

- (2) センター所長は、申し込みのあった機器利用を承認したときは、様式第4号の利用承認証を交付する。
- (3) 共同利用の可否は、運営規程第11条第3項の地域医療連携室の責任者が決定する。

《診断機器の利用の流れ》

- 1 地域の医療機関がこども医療センターに検査（CT、MRI、超音波、核医学）の依頼を行う。
- 2 こども医療センターで検査を（CT、MRI、超音波、核医学）を行う。
 - (1) 検査の形
 - ・ア 造影剤の使用（希望・不要）
 - ・イ 検査の際の鎮静（要・不要）
 - ※ どのような方法で行うかは担当医が決定します。
 - (2) 来院の形
 - ・ 患者とその家族のみでの来院
 - ・ 依頼した医療機関の医師、看護師が同伴して来院
 - ・
 - (3) 検査結果
 - ・ 結果はすべて読影して戻す。

4 病理解剖の依頼手続等

- (1) 登録医は、センターにおいて病理解剖を依頼したい場合には、様式第5号の申込書を提出しセンターの承認を得るものとする。
- (2) センター総長は、申し込みのあった病理解剖を承認する場合は様式第6号の承認証を交付する。
- (3) 受け入れの可否は、運営規程第11条第3項の地域医療連携室の責任者が決定する。

様式第1号

年 月 日

共同診療・手術参加申し込み書

地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター総長 様

申請者 住 所
医療機関名
医 師 名 印
電 話 番 号

下記の患者に係る共同診療（外来・入院） ・ 手術への参加を申し込みます。

記

患者氏名		生年月日	
住 所			
保護者名		電話番号	

様式第2号

共同診療・手術への参加承認証

(医療機関名)

(医 師 名)

様

患者名 _____ に係る共同診療（外来・入院） ・ 手術への参加について承認します。

年 月 日

地方独立行政法人神奈川県立病院機構

神奈川県立こども医療センター総長

様式第3号

平成 年 月 日

診断機器利用申込書

地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター総長 様

申請者 住 所
医療機関名
医 師 名 印
電 話 番 号

下記の診断機器の利用について申し込みます。
(診療情報提供書(紹介状)のご提出もお願いします。)

記

1. 希望の画像に□チェックをしてください。

※こちらの判断で検査の変更をさせていただく場合があります。

CT MRI 超音波 核医学

下記の項目に該当する箇所へ□チェックをしてください。

(1) 検査の形

ア 造影剤の使用 (希望 不要)

イ 検査の際の鎮静 (要 不要)

※どのような方法で行うかは担当医が決定します。

(2) 来院の形

患者とその家族のみでの来院

依頼した医療機関の医師、看護師が同伴して来院

2. その他 ()

様式第4号

診断機器利用承認証

(医療機関名)

(医師名)

様

申し込みのありました診断機器の利用については、承認します。

平成 年 月 日

地方独立行政法人神奈川県立病院機構

神奈川県立こども医療センター総長

様式第5号

平成 年 月 日

病理解剖申込書

地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター総長 様

申請者 住 所
医療機関名
医 師 名 印
電 話 番 号

下記の患者の病理解剖について申し込みます。

記

患者氏名		生年月日	
住 所			
保護者名		電話番号	

様式第6号

病理解剖依頼承認証

(医療機関名)

(医師名)

様

患者名

に係る病理解剖については承認します。

平成 年 月 日

地方行政法人神奈川県立病院機構

神奈川県立こども医療センター総長

令和6年度 地域の医療従事者に対する研修実績						参加者内訳		
内容	対象者	日程	テーマ	参加者	院内	院外		
小児科セミナー								
第22回	若手小児科志望研修医 地域医療機関医師	6月15日(土) 13:00～17:30 6月16日(日) 9:00～12:20	<ul style="list-style-type: none"> 小児の栄養サポートチーム運営の実際 新生児のフィジカルアセスメント 小児感染症ケーススタディ 小さな命を救え 子どもの心の育ちを支える 小児科医が知っておくと得をする小児外科の知識と技術 プライマリケアにおけるアレルギー診療のポイント 	アレルギー科 新生児科 感染免疫科 新生児科 児童思春期精神科 外科 アレルギー科	33	0	33	
小計				33	0	33		
NST勉強会								
	医師 看護師等	通年	令和3年度後期以降、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。その後はウェブ上で通年、小児栄養オンラインサロンで情報を共有している。 https://kcmc-nst.com/nst/小児栄養オンラインサロン/	360	-	-		
小計				360	-	-		
KCMC胎児遠隔症例報告会								
第32回	医師 助産師 看護師等	4月26日(金) 17:30～19:30	<ol style="list-style-type: none"> 「頸部嚢胞の一例」産婦人科 「ダウン症候群を合併した房室中隔欠損症の症例」循環器内科、心臓血管外科 「心内修復術まで到達した心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症、主要体肺動脈側副血行路の症例」循環器内科、心臓血管外科 「開窓型フォンタン手術を施行された左心低形成症候群の症例」循環器内科、心臓血管外科 	63	14	49		
第33回	医師 助産師 看護師等	7月26日(金) 17:30～19:30	<ol style="list-style-type: none"> 「当院で経験した胎児エコーにおける総肺静脈還流異常症Ⅱ型の特徴」循環器内科 「上位空腸閉鎖が疑われたapple-peel型空腸閉鎖の一例」産婦人科、新生児科、外科 「出生後に介入を要した大動脈弁狭窄、大動脈二尖弁の症例」循環器内科、心臓血管外科 「胎児治療が検討された重症Ebstein奇形の症例」循環器内科、心臓血管外科 	59	19	40		
第34回	医師 助産師 看護師等	10月25日(金) 17:30～19:30	<ol style="list-style-type: none"> 「腸管拡張で紹介された巨大水尿管の1例：胎児診断から出生後の治療まで」産婦人科、新生児科、泌尿器科 「出生後に大動脈スイッチ手術を行った完全大血管転位症の症例」循環器内科、心臓血管外科 「出生後に将来的なダブルスイッチ手術を見越して、肺動脈絞扼術を行った修正大血管転位症の症例」循環器内科、心臓血管外科 「胎児期に心臓腫瘍を指摘され、出生後に腫瘍を原因とした頻拍発作に対して化学療法が著効した結節性硬化症の症例」循環器内科 	65	11	54		
第35回	医師 助産師 看護師等	令和7年1月31日(金) 17:30～19:30	<ol style="list-style-type: none"> 「二期的手術によって侵襲と創を最小にできた胎便性腹膜炎の症例」産婦人科、新生児科、外科 「出生後に肺静脈ステント留置をして救命した右側相同、総肺静脈環流異常症、肺静脈閉鎖の症例」循環器内科、心臓血管外科 「出生後に緩和ケアを選択せざるを得なかった右側相同、総肺静脈環流異常症、肺静脈閉鎖の症例」循環器内科 「フォンタン術後の発達予後」循環器内科 	48	7	41		
小計				235	51	184		

看護集談会					
第92回看護集談会	医療従事者	2024年11月17日(日) 13:30~16:00	<p>講評：神奈川県立保健福祉大学 教授 座長：4階東病棟 看護科長・5階西病棟</p> <p>《実践報告》□ 1. 小児専門病院における在宅移行支援の取り組み ー地域の関係機関と連携した退院前訪問・退院後訪問の実施状況の報告ー 第12回日本小児在宅医療支援研究会 発表□ 外来</p> <p>《研究発表》 1. 肢体不自由児施設に長期入院する思春期患者の生活ルールへの思い 第68回全国肢体不自由児療育研究大会 発表□ 肢体不自由児施設 2. 運動制限がある中で退所後に普通級へと復学していく学童期患者・家族に求められる支援 ー患者家族の声を通じて見えてきた入所生活での関わりの意義ー 第68回全国肢体不自由児療育研究大会 発表□ 肢体不自由児施設 3. 極低出生体重児における閉鎖式保育器離脱時期の検証 ー閉鎖式保育器離脱前後の体温および体重変化の観察ー 第32回日本新生児看護学会学術集会 発表□ NICU病棟 4. 小児専門病院PICUにおけるオンライン面会の実際 第51回日本集中治療医学会学術集会 発表□ 看護教育科 5. 小児救急病棟における急変時対応シミュレーションが看護師に与えた教育効果 ー無記名自記式質問紙調査に基づく検討ー 第54回日本看護学会学術集会 発表□ ハイケア・救急病棟1 6. 小児看護領域の新人教育担当者が感じる困難 第55回日本看護学会学術集会 発表□ 退院・在宅医療支援室</p>	68	-
小計				68	-
KCMC小児看護エキスパートナースコース					
エキスパートナースコース受講者	5/30(木) 9:00~15:50	<p>子ども医療センターにおける現状と役割 エキスパートナースに期待される小児看護の視点 看護専門職としてのキャリア開発 小児看護に関する動向・政策・診療報酬</p>	<p>医務監 副院長兼看護局長 教育担当副看護局長 小児看護専門看護師</p>	20	8 12
エキスパートナースコース受講者	6/17(月) 9:30~12:40	<p>看護理論 小児における感染症と対策 レポート作成の基礎知識</p>	<p>教育担当副看護局長 感染管理認定看護師 緩和ケア認定看護師</p>	20	8 12
エキスパートナースコース受講者	7/17(水) 9:30~16:10	<p>小児のフィジカルアセスメント 子どもの権利と倫理 看護における人材育成 コミュニケーション</p>	<p>小児プライマリケア認定看護師 小児看護専門看護師 看護教育科 臨床心理士</p>	20	8 12
エキスパートナースコース受講者	8/5(月) 9:30~12:40	<p>研究に関する知識①(研究テーマの設定) リソースナースの役割と活用</p>	<p>神奈川県立保健福祉大学 新生児集中ケア認定看護師</p>	20	8 12
エキスパートナースコース受講者	9/11(水) 9:00~11:30	<p>遺伝カウンセリング 退院調整・在宅支援</p>	<p>認定カウンセラー 退院・在宅医療支援室</p>	20	8 12
エキスパートナースコース受講者	10/10(木) 9:30~17:30	<p>研究に関する知識②(研究計画書の作成) 看護研究グループワーク(対面) 児童虐待</p>	<p>神奈川県立保健福祉大学 神奈川県立保健福祉大学 神奈川県立保健福祉大学 小児救急看護認定看護師</p>	20	8 12
エキスパートナースコース受講者	11/13(水) 9:30~12:40	<p>チームアプローチ 周産期に関する看護①(妊娠期~産褥期の看護) 周産期に関する看護②(NICUでの看護)</p>	<p>小児看護専門看護師 母性・MFICU病棟看護科長 新生児集中ケア認定看護師</p>	20	8 12
エキスパートナースコース受講者	12/11(水) 9:30~14:40	<p>家族支援 小児に必要なスキンケア 小児看護の成長発達をふまえた看護実践</p>	<p>家族支援専門看護師 小児アレルギーエドゥケーター 小児救急看護認定看護師</p>	20	8 12
エキスパートナースコース受講者	1/20(月) 9:30~13:10	<p>移行期・AYA世代への支援 急性期にある小児に関する看護(周術期を含む) 終末期の小児に関する看護</p>	<p>糖尿病看護認定看護師 看護教育科 エキスパートナースコース修了生</p>	20	8 12
エキスパートナースコース受講者	2/3(月) 9:30~16:30	<p>重症心身障害児に関する看護 発達・精神障害のある小児に関する看護 子どもの緩和ケア 看護研究指導</p>	<p>認定重症心身障害看護師 こころの診療病棟 緩和ケア認定看護師 神奈川県立保健福祉大学 神奈川県立保健福祉大学</p>	20	8 12
小計				200	80 120

小児緩和ケアセミナー						
			該当なし	-	-	-
小 計				-	-	-
神奈川県小児がん従事者研修						
1回	医療従事者	5月21日 (火)	「小児がん総論と小児がん拠点病院の役割」 講師：血液・腫瘍科	92	40	52
2回	医療従事者	6月11日 (火)	「抗がん剤治療総論」 講師：血液・腫瘍科	99	41	58
3回	医療従事者	7月16日 (火)	「検査結果のみかた」 講師：血液・腫瘍科医師	94	43	51
4回	医療従事者	8月20日 (火)	「小児がん治療の外科的管理」「小児がん治療の麻酔科的管理」 講師：外科 麻酔科	53	20	33
5回	医療従事者	9月17日 (火)	「遺伝性腫瘍」 講師：血液・腫瘍科 遺伝認定カウンセラー	64	37	27
6回	医療従事者	10月15日 (火)	「小児がんに活用できる助成制度と社会資源」「小児がん治療を応援するNPO」 「小児がん治療を応援するボランティア」 講師：医療福祉相談室 認定NPO法人スマイルオブキッズ ちあふあみ！	60	29	31
7回	医療従事者	11月19日 (火)	「小児がん患者のアピアランスケア」 講師：一般社団法人チャームングケア	47	24	23
8回	医療従事者	12月17日 (火)	「がんのこどもの意思決定支援」 講師：京都府立医科大学付属病院 小児看護専門看護師	96	76	20
小 計				605	310	295
在宅ケア研修会						
	医療従事者	11月28日 (木)	「小児がんにおける在宅医療の現状」 講師：血液・腫瘍科 「病院から連携する訪問看護に望むこと」 講師：血液・腫瘍科 「訪問看護から連携する病院に望むこと」 講師：訪問看護ステーション	72	51	21
小 計				72	51	21
小児保健研修（神奈川県健康増進課と共催）						
1回	神奈川県に勤務する母子保健従事者	ライブ配信：10月29日 (火) アーカイブ配信：11月11日 (月)～12月25日 (水)	講義 ①「乳幼児期の難聴の早期発見とフォローについて ～最近のトピックを添えて～」 横浜栄共済病院 耳鼻咽喉科 ②「新生児難聴スクリーニング検査で発見された難聴児への支援について」 言語聴覚科 言語聴覚士	130	-	-
小 計				130	-	-
小児保健支援者研修会						
1回	神奈川県内の母子保健や保育、教育に従事している支援者	対面：10月21日 (月) 14時～16時 アーカイブ配信：11月1日 (金)～R7年1月10日 (金)	講義 「子どもの便秘 どう対応する？～Team Big 便の活動を学ぶ～」 済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科部長	【対面】10 【アーカイブ】91	-	-
小 計				10	-	-

地域小児保健支援者研修会（神奈川県と共催）						
1回	神奈川県内の母子保健や保育、教育に従事している支援者	対面：12月12日（木）14時～16時 オンデマンド配信：12月23日（月）～R7年1月22日（水）	講義 「災害が子どもに与える影響とその支援」 半蔵門のびすこどもクリニック 院長	196	-	-
小計				196	-	-
小児在宅医療実技研修会						
1回	地域の在宅療養児者支援者	6月28日（金）	テーマ 「気管軟化症」 こども医療センター講堂 ハイブリット形式 講義 ○新生児科医師 ○訪問看護ステーションもみじ所長 看護師	116	30	86
2回	地域の在宅療養児者支援者	7月26日（金）	テーマ 「乳児期から幼児期の食育」 こども医療センター講堂ハイブリット形式 講義 ○合同会社OHANA 管理栄養士	58	24	34
3回	地域の在宅療養児者支援者	10月20日（日）	テーマ 「気管切開をしている子どもの起こりうる緊急事態とその対応」 こども医療センター 体育館 午前・午後 2回開催 講義 1. 気管切開をしている子どもの起こりうる緊急事態とその対応について 地域連携・家族支援局長： 医師 2. 実技演習 支援室看護師5名 1) カニューレ交換・胸骨圧迫・緊急時対応のデモンストレーション 2) 緊急時対応の演習（カニューレ交換・胸骨圧迫 含む） 3. 質疑応答	38	0	午前20 午後18
4回	地域の在宅療養児者支援者	12月6日（金）	テーマ 「在宅における小児の呼吸器管理」 こども医療センター講堂 ハイブリット形式 講義 ○総合診療科医師 ○皮膚・排泄ケア認定看護師	121	47	74
小計				333	101	232
地域医療支援事業研修会						
第1回	地域の医療従事者	11月8日（金） 18：30～19：30	「摂食障害診療における地域連携」 児童思春期精神科	41	0	41
第2回	地域の医療従事者	12月12日（木） 18：30～19：30	「食物アレルギーについて」 アレルギー科	35	0	35
第3回	地域の医療従事者	令和7年2月13日（木） 18：30～19：30	「感染症について」 感染免疫科	27	0	27
小計				103	0	103
小児在宅医療を支える支援者交流会						
	地域の在宅療養児者支援者	11月22日（金）	テーマ 「学校との連携を考える」 こども医療センター講堂 ハイブリット形式 講師 ○横浜市教育委員会事務局 学校教育企画部特別支援教育課担当課長 ○横浜市特別支援教育総合センター 教育委員会事務局 学校教育企画部特別支援教育相談課	100	10	90
小計				100	10	90

小児在宅医療連携カンファレンス						
			開催なし	-	-	-
				小計	-	-
新人看護職員研修公開講座						
新人看護職員研修補助事業	小児看護に携わる新人看護職員及び、その指導的役割を担う看護職員	8月29日	【公開講座:新人看護職員研修補助事業】 「1年目を知っておきたい小児看護のキホン」 第1回 (オンライン開催) ①こどもの皮膚ケア ②こどもの感染対策のキホン ③成長発達を踏まえた看護展開 事例を通して	4階西病棟主任看護師 感染管理認定看護師 小児救急看護認定看護師	48	14
新人看護職員研修補助事業	小児看護に携わる新人看護職員及び、その指導的役割を担う看護職員	9月17日	【公開講座:新人看護職員研修補助事業】 「1年目を知っておきたい小児看護のキホン」 第2回 (オンライン開催) ①重症心身障害児の看護 ②小児病棟からの退院支援・移行支援 ③こどものフィジカルアセスメント	協会認定重症心身障害看護師 糖尿病看護認定看護師 小児プライマリケア認定看護師	44	12
				小計	92	26
神奈川県周産期医療対策事業研修事業 ALSO プロバイダーコース in 横浜						
神奈川県周産期医療体制整備計画にもとづく研修事業	産婦人科医 救急科医 初期・後期研修医 助産師 救命救急士 救急科看護師	10月12日 (土) 10月13日 (日)	産婦人科医、助産師、研修医、麻酔科医、救急科医などを対象 ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics) は、病院内での妊産婦救急を想定した、産科に関する実践的なトレーニングプログラム 配信動画によるレクチャーとマネキンを使用した実習 (2日間) を行い、吸引分娩、肩甲難産、分娩時異常出血、胎児心拍モニター判読、妊婦の心肺蘇生、チームコミュニケーションなどを学ぶ		20	0
				小計	20	0
				合計	2,557	629
					1,164	